

科目名	検査・測定実習【作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	青 山 宏・作業療法士教員全員						
開講年次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必修（作業）
授業の概要 及びねらい	基礎医学及び疾病と障害に関する知識と「見学実習」の経験をふまえて、実習指導者の指導・教育のもと、理学療法士、作業療法士の評価・治療場面の見学のほか、初歩的な検査・測定の手順についても体験し、統合と解釈の重要性を理解する。本実習を通して、理学療法または作業療法の対象者の障害の多様性を認識すると共に、疾病や障害に応じた評価及び治療法を学び、専門知識と技術の重要性について認識する。						
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人・専門職としての基本的態度が理解できる。 2. 医療人として責任及び節度のある態度と行動が理解できる。 3. 対象者とのコミュニケーションをとることができる。 4. 作業療法部門が対象とする主な疾患と多様な障害像を知る。 5. 説明を受けて、対象者の疾病および障害とそれらに応じた評価及び治療との関係が理解できる。 6. 対象者に対して、基本的な評価項目を正しく実施できる。 7. 基本的な評価結果を記録し、報告することができる。 8. 学内での講義・実習の意義を理解し学習意欲を高めることができる。 9. 臨床における作業療法（士）の役割について説明ができる。 10. 臨床実習指導者や関係スタッフと良好な関係を気付くことができる。 						
学習方法	臨床実習指導者の指導による検査・測定実習						
テキスト及 び参考書等	特に指定しない。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他	実習指導者の評価、実習報告書、セミナーでの発表・討論を総合して評価する。						100
合計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
	<p>実習施設において実習指導者の指導のもと観察と初歩的な体験を主体とした実習を行う。実習日時、実習施設、実習内容については改めてオリエンテーションを行う（実習期間は2週間）。</p> <p>臨床実習後に学内において実習セミナーを開催し報告と討議を行う。</p>						
備考	実習前後の予習、復習をしっかりと行うこと。						